

American DJ®

ACCU SPOT 250™

取扱説明書



株式会社サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡 1958
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は American DJ の AccuSpot 250 をご購入いただき、誠に有難う御座います。AccuSpot 250 は 8 チャンネルムービングヘッドです。3 つの操作モードを中心とし、内蔵プログラムを効果的に使用することにより空間を華やかに彩ることが可能です。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。また不明な点が生じた場合に備え、保証書と一緒に大切に保管して下さい。

基本仕様

- マイクロ・ステップ・モーターによるスムーズなカラー、ゴボの変換
- DMX-512 に対応
- 独立したゴボ・ホイールとカラー・ホイール
- 8 種類のゴボ・1 ダイクロゴボ (取替え可能)
- 9 カラー + 白
- 3 操作モード (マスター/スレーブ:スタンドアローン:サウンドアクティブ)
- 本体にマイクを内蔵
- スピード可変式ストロボ機能 (1-12fps)
- シーンの編集、本体メモリーへの保存が可能
- 360 ° パン操作可能
- 265 ° チルト操作可能
- LED ディスプレイ
- MSD250/2 ディスチャージランプ

ディスチャージ・ランプに関する注意

本製品に搭載されたディスチャージ・ランプは非常に破損しやすい為、取扱いには十分ご注意ください。ランプに直接手を触れると油脂が付着して破損することがあります。手を触れた場合はやわらかい布で電球の表面をふき取って下さい。また、衝撃などにより電球内のフィラメントが切れることがありますので、取扱いにはご注意ください。

ディスチャージ・ランプは非常に強い紫外線を発光します。極度の輝度は網膜を痛める可能性があります。保護カバーは紫外線の放射を遮断する為に特別にデザインされていますので、保護カバーなしで本製品を絶対に使用しないで下さい。

注：ディスチャージ・ランプを直接見ることを絶対に避けて下さい。

本体電源のオン/オフを短い時間に連続して行うとランプの寿命が縮まりますのでお止め下さい。

ランプや電源を OFF にした後、5 分間は電源を入れないようにしてください。

電球の寿命が短くなるため、再度使用する場合は 5 分以上クールダウンをしてから電源を入れご使用ください。

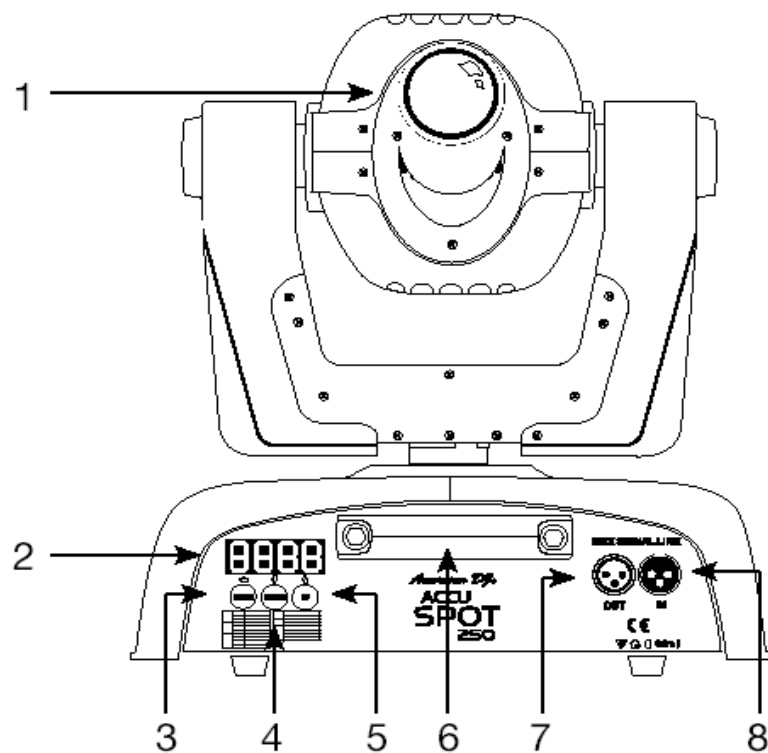
照度を保つ為に、ディスチャージ・ランプは高圧で圧縮されたガスが使用されています。その為長期に渡り使用した場合、ランプが破裂する恐れがあります。このリスクはランプが古くなるにつれ増加し、更なる注意が必要になります。ガスを使用したディスチャージ・ランプが取付けられている製品を使用する際にはくれぐれもご注意ください。また、使用中に本体のカバーを開くことは危険ですのでおやめ下さい。

安全上のご注意

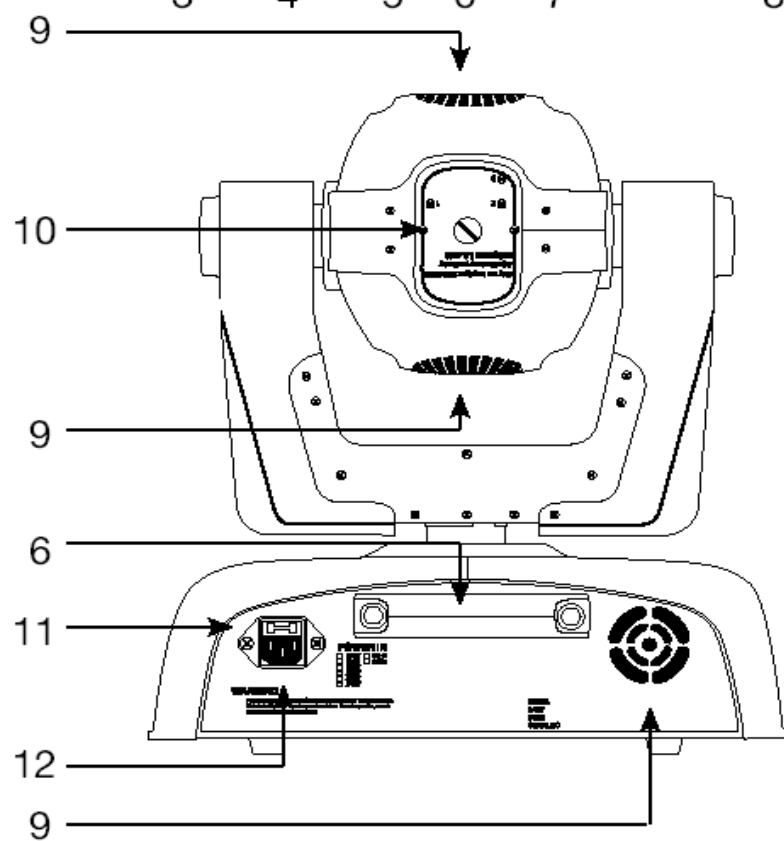
- 感電、火災の危険性を最小限におさえる為に、雨天や高湿度の状況下で本製品を使用することはお止め下さい。
- 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしない様ご注意下さい。
- 定格電圧 AC100V、50/60Hz でご使用下さい。
- 損傷、断線した電源ケーブルを使用することはお止め下さい。
- アースピンは本体内部回路がショートした際に感電、火災の危険性を抑える役割をします。電源ケーブルのアースピンを取り除くことは絶対にお止め下さい。
- 本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外してから行って下さい。
- どのような状況においても本体のカバーを外さないで下さい。
- 本体カバーを外した状態で本製品を使用しないで下さい。
- 本製品をディマープックに接続しないで下さい。
- 必ず風通しの良い、壁から約 15 センチ以上離れた場所に設置して下さい。
- 本体に損傷がある場合は本製品の使用を止めて下さい。
- 本製品は屋内でのみ使用可能です。屋外で使用した場合保証対象外になりますので予めご了承下さい。
- 長期間本製品を使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外して下さい。
- 電源ケーブルは踏まれたり、物に挟まれたりしないようご注意下さい。
- 本製品はラジエーター、ストーブ等の熱源から離して使用して下さい。
- 本製品に異常を感じた時は速やかに使用を中止し、販売店又は正規代理店にお問い合わせ下さい。

基本機能と操作

FRONT



REAR



1. レンズアセンブリ

フォーカス可能な高品質レンズを搭載しています。

2. デジタルディスプレイ

メニューと操作機能を表示します。

3. ENTER ボタン

システムメニュー上の設定の決定を行ないます。

4. EXIT / DN ボタン

メニューを終了する際、又は特定のメニューのみで表示をスクロールさせます。

5. UP ボタン

システムメニュー上の表示をスクロールします。

6. 運搬用ハンドル

本体を持ち運ぶ際は必ず運搬用ハンドルをお使い下さい。ヘッドやアームを持つと本体の破損につながりますのでお止め下さい。尚、ヘッドやアームを持った場合に起きた本体の破損は保証対象外になりますので予めご了承下さい。

7. XLR DMX 出力端子

XLR 入力端子から受信した DMX 信号を外部 DMX 機器に出力したり、マスター/スレーブ信号をもう 1 台の AccuSpot250 に接続する為に使用します。DMX モード、又はマスター/スレーブ・モード時に直列接続された最後のユニットにターミネーターを接続すると、接続された全てのユニットが安定します。

8. XLR DMX 入力端子

DMX 信号、又はマスター/スレーブ信号を受信します。

9. 冷却ファン

AccuSpot250 は 3 段階可変スピード冷却ファンを搭載しています。

10. ランプアセンブリ/アクセスプレート

ランプアセンブリにアクセスする際に使用します。AccuSpot250 は MSD250/2 ディスチャージ・ランプを搭載しています。ディスチャージ・ランプを交換する際は必ず同じランプと取替えて下さい。ランプ交換後、ランプが反射板の真中に位置していることを確認して下さい。

11. ヒューズ・ホルダー

10A ヒューズを装填することが可能です。ヒューズは電源の激しい変動が起きた場合に本体の内部回路を保護するようにデザインされています。ヒューズが過入力電源等により飛んだ場合は、速やかに同等のヒューズと交換して下さい。

12. 電源入力端子

電源ケーブルを接続して本体に電源を供給します。必ず本体に付属する電源ケーブルを使用して下さい。アースピンは本体内部回路がショートした際に感電、火災の危険性を抑える役割をします。電源ケーブルのアースピンを取り除くことは絶対にお止め下さい。

基本設定

電源

AccuSpot250 は定格電圧 AC100V、50/60Hz で使用して下さい。電源ケーブルをコンセントに接続する前に電源を確認して下さい。

DMX-512

DMXは照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行う為の世界共通規格です。DMXコントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の“DATA IN”、“DATA OUT”端子を介し、DMX信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることによりDMX信号の減衰を最小限に抑えることができます。

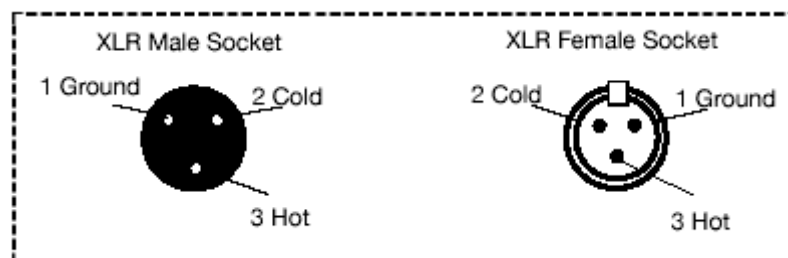
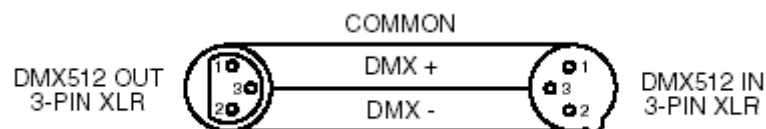
DMX ケーブル

AccuSpot250 は 6 チャンネル DMX ユニットです。DMX アドレスは本体の底面で設定して下さい。DMX コントローラーと DMX ユニットの接続は XLR 仕様のケーブルを使用していきます。DMX ケーブルを作る際は標準 2 芯シールドケーブルを使用して下さい。

また、DMX ケーブルは並列接続することができません。必ず直列接続して下さい。



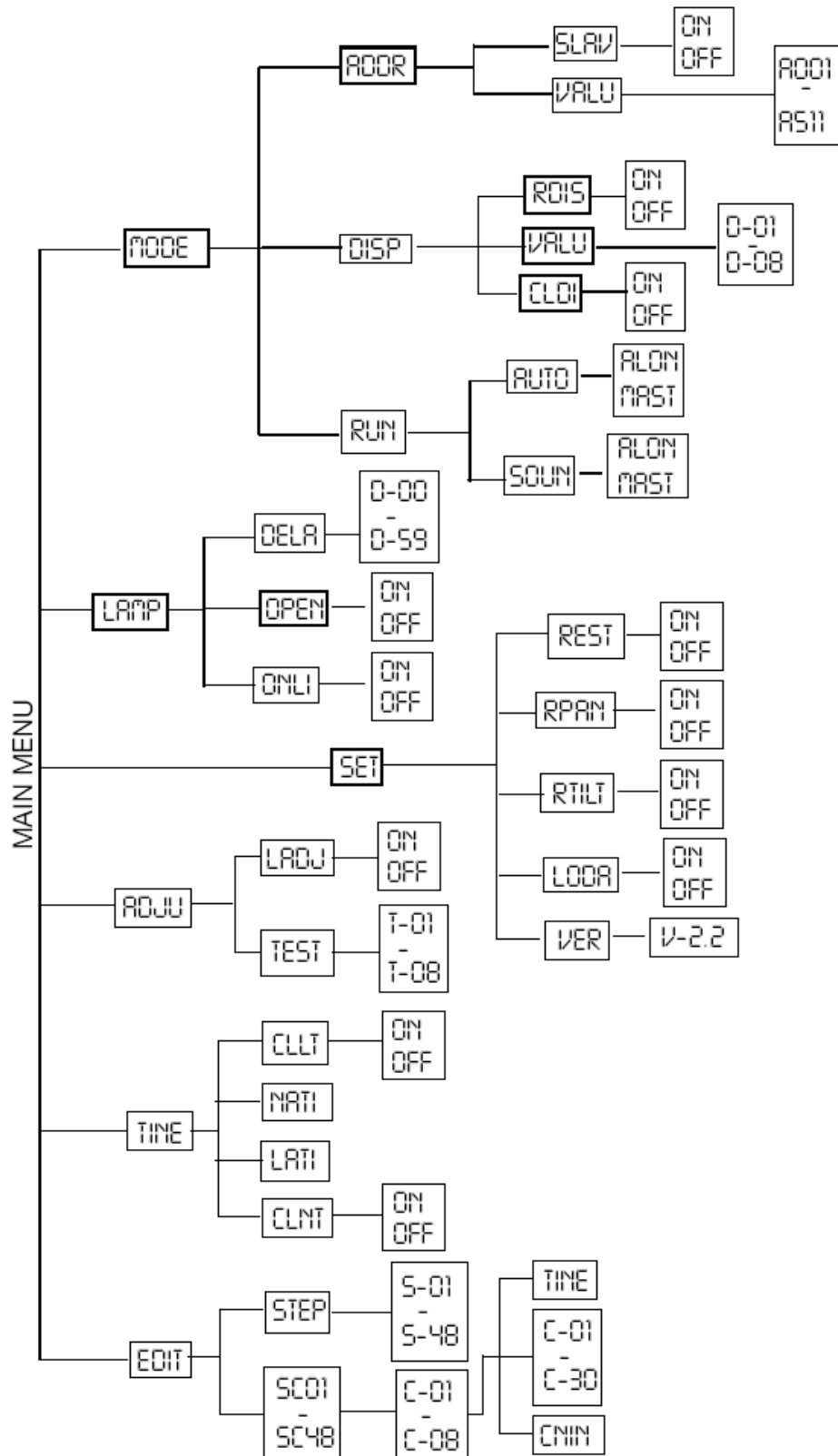
DMX ケーブルを作る際、以下の図を参照して下さい。



5 ピン XLR 仕様の DMX コネクター

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクターの代わりに 5 ピン仕様の XLR コネクターを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクターを AccuSpot250 に接続する際は変換アダプターをお使い下さい。

システムメニュー



ADDRESS メニュー

SLAV	(スレーブ)	マスター/スレーブモード時に本体をスレーブ機に設定します。
VALU	(バリュー)	本体の DMX アドレスを設定します。

DISPLAY メニュー

DISP	(ディスプレイ)	ディスプレイメニューに設定されます。
ROIS	(リバースディスプレイ)	デジタルディスプレイを 180 ° 反転させ表示します。
VALU	(DMX-512 バリュー)	各 DMX チャンネルの DMX-512 値を表示します。
CLOI	(クローズディスプレイ)	デジタルディスプレイが 2 分後に消えます。

RUN メニュー

RUN	(ラン)	RUN メニューに設定されます。
AUTO	(オートマチック)	内蔵されたプログラムが動作します。
SOUN	(サウンドアクティブ)	サウンドアクティブモードに設定されます。
ALON	(アローン)	スタンドアローンモードに入ります。
MAST	(マスター)	マスター/スレーブモード時に本体をマスター機に設定します。

LAMP メニュー

DELA	(ディレイ)	電球がオンになるまでの時間を設定します。
OPEN	(オープン)	電球のオン/オフを切替えます。
ONLY		外部コントローラーから電球のオン/オフを切替えることが可能です。

SET メニュー

REST	(リセット)	本体の設定をリセットします。
RPAI	(リバースパン)	パンを反転させます。
RTILT	(リバースチルト)	チルトを反転させます。
LODA		工場出荷時の設定状態に戻します。
VER	(バージョン)	ソフトウェアバージョンを表示します。

ADJUST メニュー

LADJ (電球調整)

コントロールボードから電球の位置を調整できます。
このモードが選択されている時、本体はコントロール信号には
反応しません。

TEST (テスト)

各チャンネルの機能をテストします。

TIME メニュー

CLT
NAT1
LAT1
CLNT

ランプ動作時間表示を削除します。
灯体の動作時間を表示します。
ランプの動作時間を表示します。
灯体の動作時間を削除します。

EDIT メニュー

STEP (ステップ)
SC01 - SC48 (シーン)
TIME (タイム)
CNIN
C-01 - C-30 (チャンネル)

エディットプログラミングで使します。
プログラムを保存するシーンのスロットです。
各シーンの時間を表示します。
外部コントローラーを使用してプログラムを編集します。
各シーンのチャンネルです。

システムメニュー

Accuspot250 は操作が簡単に行えるように本体にシステムメニューを内蔵しています。

ENTER ボタン

メインメニューに入るには本体側面に位置する ENTER ボタンを使します。システムメニューに入るには ENTER ボタンを 3 秒程押して下さい。UP ボタンを使って変更したい機能を表示させ、ENTER ボタンで選択します。編集する機能を選択するとメニューが点滅します。UP ボタンを使って機能に変更を加えます。変更を決定する際は再度 ENTER ボタンを押して下さい。尚機能に変更を加えてから 8 秒以内に ENTER ボタンが押されないとメニューセクションに自動的に戻ります。変更を加えずに終了する際は EXIT/DN ボタンを押して下さい。

MODE メインメニュー

ADDR コントロールボードを使用した DMX アドレス設定

1. メインメニューに入ってください。
2. UP ボタンを使って“MODE”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“ADDR”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“VALU”が表示されます。ENTER ボタンを押して下さい。“ROOT”が表示されますので、UP ボタンと DOWN ボタンを使って DMX アドレスを設定して下さい。
5. ENTER を押して決定して下さい。
6. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

SLAV マスター/スレーブモード時に本体をスレーブに設定します。

1. メインメニューに入ってください。
2. UP ボタンを使って“MODE”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“ADDR”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. UP ボタンを使って“SLAV”を表示させ、ENTER を押して下さい。
5. ENTER ボタンを押すと“ON/OFF”が表示されます。
6. 本体をスレーブ機として使用する場合は UP ボタンで“ON”を選択し、スレーブ機として使用しない場合は“OFF”を選択して下さい。
7. ENTER を押して決定して下さい。
8. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

RUN RUN 機能を使用すると本体内蔵のプログラムを使用することが可能です。
また STEP でステップの数を設定し、EDIT で各シーンの編集を行います。各シーンを自動的に動作させる場合は“AUTO”を、サウンドアクティブを動作させる場合は“SOUN”を選択して下さい。“ALON”を選択すると本体はスタンドアローン・モードに入り、マスター/スレーブモード時に“MAST”を選択すると本体はマスター機に設定されます。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って“MODE”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“RUN”を表示させ、ENTER を押して下さい。

4. “AUTO”が表示され、UP ボタンにより “SOUN”に変更することができます。いずれかを選択して ENTER ボタンで決定して下さい。
5. UP ボタンを使って “ALON” (スタンドアローンモード)、または “NAST” マスター/スレーブモードを選択して下さい。
6. モードを選択して ENTER で決定して下さい。
7. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

DISP 各チャンネルの DMX-512 の値を表示します。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って “NODE” を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って “DISP” を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに “VALU”が表示されます。ENTER ボタンを押して下さい。
5. “0-00”が表示され、UP ボタンを使ってチャンネルを選択して下さい。例えば、“0-05”を選択した場合、ディスプレイにチャンネル 5 の DMX 値のみが表示されます。
6. ENTER を押して決定して下さい。
7. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

CLOI 2 分後にデジタルディスプレイの表示が消えます。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って “NODE” を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って “DISP” を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに “CLOI”が表示されます。ENTER ボタンを押して下さい。
5. ディスプレイに “ON/OFF”が表示されます。UP ボタンで “ON”を選択するとこの機能がオンになり、“OFF”を選択するとオフに設定されます。
6. ENTER ボタンを押して設定して下さい。
7. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

ROIS ディスプレイ上の表示を 180 ° 反転させます。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを押して “ROIS” を表示させて下さい。

3. ENTER ボタンを押すと “ON/OFF”が表示されます。
4. ディスプレイに “ON/OFF”が表示されます。UP ボタンで “ON”を選択するとこの機能がオンになり、“OFF”を選択するとオフに設定されます。
5. ENTER を押して決定して下さい。
6. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

LAMP メインメニュー

OPEN コントロールボードからランプのオン/オフを切替えることが可能です。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って “LAMP”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って “OPEN”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに “ON/OFF”が表示されます。UP ボタンで “ON”を選択するとランプがオンになり、“OFF”を選択するとオフに切替わります。
5. ENTER ボタンを押して設定して下さい。
6. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

ONL I 外部コントローラーからランプのオン/オフを切替えることが可能です。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って “LAMP”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って “ONL I”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに “ON/OFF”が表示されます。UP ボタンで “ON”を選択するとランプがオンになり、“OFF”を選択するとオフに切替わります。
5. ENTER ボタンを押して設定して下さい。
6. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

DELA ランプが点灯するまでの時間を調節します。(ディレイ)

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って “LAMP”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って “DELA”を表示させ、ENTER を押して下さい。

4. ディスプレイに“0-00”が表示されます。UP ボタンを使って 00～59 分の範囲でディレイを設定します。例えば“0-03”を選択するとランプが 3 分後に点灯します。
5. ENTER ボタンを押して設定して下さい。
6. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

SET メインメニュー

RPRN パンの動作を反転させます。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って“SET”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“RPRN”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”が表示されます。UP ボタンで“ON”を選択するとこの機能がオンになり、“OFF”を選択するとオフに設定されます。
5. ENTER を押して決定して下さい。
6. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

RTILT チルトの動作を反転させます。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って“SET”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“RTILT”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”が表示されます。ENTER ボタンを押して下さい。
5. UP ボタンで“ON”を選択するとこの機能がオンになり、“OFF”を選択するとオフに設定されます。
6. ENTER を押して決定して下さい。
7. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

RESET 灯体の動作をリセットします。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って“SET”を表示させ、ENTER を押して下さい。

3. UP ボタンを使って“REST”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”が表示されます。
5. UP ボタンで“ON”を選択するとこの機能がオンになり、“OFF”を選択するとオフに設定されます。
6. ENTER を押して決定して下さい。
7. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

LOAD 灯体の設定を工場出荷時の設定に戻します。全ての設定はデフォルト値に戻り、編集されたシーンは削除されます。本体をファクトリー設定に戻す際は灯体を編集し始めた時と同じアドレスに設定して下さい。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って“SET”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“LOAD”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”が表示されます。
5. UP ボタンで“ON”を選択するとこの機能がオンになり、“OFF”を選択するとオフに設定されます。
6. ENTER を押して決定して下さい。
7. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

VER ソフトウェアのバージョンを表示します。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って“SET”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“VER”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“V-X.X”が表示されます。“X.X”はソフトウェアのバージョンを示し、実際は“V-1.0”や“V-2.6”のように表示されます。
5. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

ADJU メインメニュー

TEST 各チャンネルの機能をテストします。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って“ADJU”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“TEST”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“TE-X”が表示されます。“X”はチャンネルナンバーを示します。例えば“TE-3”を選択した場合、本体は自動的に各カラーを1つずつ順に変えてテストを行います。またレインボーエフェクトも違うスピードでテストします。
5. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

LAOU コントロールボードからランプを調節することができます。この機能をオンにするとシャッターが開きランプを調節することが可能になります。尚、この機能がオンの際本体はコントロール信号に反応しません。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って“ADJU”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“LAOU”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”が表示されます。
5. UP ボタンで“ON”を選択するとこの機能がオンになり、“OFF”を選択するとオフに設定されます。
6. ENTER を押して決定して下さい。
7. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

TIME メインメニュー

NATI 本体の動作時間を表示します。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って“TIME”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“NATI”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“XXXX”が表示され、“X”は時間を示します。
5. メインメニューに戻る際は ENTER 又は EXIT/DN を押して下さい。

LATI ランプの動作時間を表示します。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って“TIME”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“LATI”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“XXXX”が表示され、“X”は時間を示します。
5. メインメニューに戻る際は ENTER 又は EXIT/DN を押して下さい。

CLNT 本体の動作時間を消去します。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って“TIME”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“CLNT”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”が表示されます。
5. UP ボタンで“ON”を選択するとこの機能がオンになり、“OFF”を選択するとオフに設定されます。
6. ENTER を押して決定して下さい。
7. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

CLLT

ランプの動作時間を消去します。ランプを交換する際に必ず行って下さい。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って“TIME”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“CLLT”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”が表示されます。
5. UP ボタンで“ON”を選択するとこの機能がオンになり、“OFF”を選択するとオフに設定されます。
6. ENTER を押して決定して下さい。
7. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。

EDIT

コントロールパネル、又は外部コントローラーからプログラムをメモリーに保存することが可能です。

編集手順 1 (コントロールボード使用時のみ)

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って“EDIT”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. ディスプレイに“SCXX”が表示され、“X”はシーンナンバーを示します。例えば“SC01”が表示されている場合、シーン 1 を編集し、ENTER で決定することが可能です。また UP ボタンでシーンナンバーを変更することができます。
4. ENTER を押すと“C-X”が表示され、“X”はチャンネルナンバーを示します。例えば“C-01”が表示されている場合、選択しているシーンのチャンネル 1 を編集し、ENTER で決定することが可能です。また UP ボタンでシーンナンバーを変更することができます。
5. ディスプレイに編集しているチャンネルの DMX 値が表示されます。例えば“11XX”と表示されている場合、編集しているシーンのチャンネル 11 を意味し“XX”は DMX 値を示します。
6. UP ボタンを使って DMX 値を調節し、チャンネルの設定を行って下さい。
7. ENTER を押して編集を行っているシーンの他のチャンネルを設定して下さい。
8. 選択しているシーンの全チャンネルの DMX 値を設定するまで 5～8 を繰り返して下さい。尚、各シーンは最大 15 チャンネルまで設定可能です。
9. 全てのチャンネルの設定が終了するとディスプレイに表示された“TIME”が点滅し、シーンを再生するのにかかる時間を示します。
10. 再生にかかる時間に変更を加えるには ENTER を押して下さい。ディスプレイに“T--X”が表示され、“X”はシーンを再生するのに必要な時間を示します。例えば“T--2”はシーン 1 にかかる時間が 2 秒であることを示し、T-15 は 15 秒かかることを示します。

11. UP ボタンを使って時間を調節して下さい。
12. ENTER を押してシーンの編集を保存して下さい。ディスプレイは自動的に次のシーンに移ります。
13. 他のシーンを編集する場合はステップ 3～12 を繰り返して下さい。最大で 48 シーンを保存可能です。
14. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。以上がコントロールボードを使ったシーンの編集、及び保存方法です。ステップの数はSTEPセクションで、また保存できるシーンの数は RUN セクションで設定可能です。

編集手順 2 (外部コントローラー使用時)

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って“EDIT”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. ディスプレイに“SCXX”が表示され、“X”はシーンナンバーを示します。例えば“SC01”が表示されている場合、シーン 1 を編集し、ENTER で決定することが可能です。また UP ボタンでシーンナンバーを変更することができます。
4. UP ボタンを使ってシーンの数を変更して下さい。
5. ENTER を押すとディスプレイに“[-01”が表示され、01 はチャンネルナンバー1 を示します。
6. UP ボタンを押して“[NIN”を表示させ ENTER を押して下さい。
7. ディスプレイに“OFF”が表示されます。UP ボタンを使って“ON”を表示させ ENTER を押して下さい。
8. ディスプレイに“SC02”が表示され、最初のシーンのダウンロードが完了します。
9. UP ボタンを使ってステップタイムを調節して下さい。
10. コントローラーに 2 番目のシーンを読み込んで下さい。
11. 全てのシーンがダウンロードされるまでステップ 3～6 を繰り返して下さい。
12. メインメニューに戻る際は EXIT/DN を押して下さい。ステップの数は STEP セクションで、また保存できるシーンの数は RUN セクションで設定可能です。

STEP RUN PROGRAM 上のステップの数を決定します。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って“EDIT”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“STEP”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“S-XX”が表示されます。“X”は保存したいステップの総数を示し、RUN に最大 48 シーン保存することができます。例えば“XX”が 05 の場合、RUN は EDIT で保存した最初の 5 シーンを再生します。
5. ENTER を押すと保存し、メインメニューに戻ります。

基本操作

スタンドアローン・モード

音楽に合わせてユニット単体が動作します。スタンドアローン・モードでは AccuScan250 を単体で、又はリンクさせた複数台を動作させることが可能です。

1. メインメニューに入ります。
2. UP ボタンを使って“NODE”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“RUN”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. “AUTO”が表示されます。サウンドアクティブを ON にする場合は、UP ボタンを押して“SOUN”を表示させ、ENTER で決定して下さい。
5. UP ボタンを押して“ALON” (スタンドアローン)、又は“MAST” (マスター/スレーブ) を選択し、ENTER で決定して下さい。
6. ENTER を押すと設定が保存され、メインメニューに戻ります。
7. ENTER を押すと保存し、メインメニューに戻ります。
8. AccuSpot250 は 2 つのプログラムが内蔵されています。これらのプログラムは本体に搭載されたマイクにより音声信号の低周波数帯域に反応します。

マスター/スレーブ・モード (サウンドアクティブ)

最大 16 台の AccuScan250 をリンクさせ、コントローラー無しで操作することが可能です。リンクされた全てのユニットは音に反応して動作します。またマスター/スレーブ・モードでは 1 台がマスターになり、残りのユニットはスレーブとして動作します。

1. 標準 XLR シールドケーブルを使用して、複数の AccuScan250 を直列接続して下さい。接続台数が多く、ケーブルの長さが長くなる場合はターミネーターを最後のユニットに接続することをお勧めします。
2. “SLAV” セクションの設定方法と“RUN” セクションを参照してマスター機とスレーブ機を設定して下さい。

DMX コントロールモード

DMX-512 コントローラーを使用してミラー・ムーブメント、カラーホイール、ゴボホイール、シャッターを操作することが可能です。DMX コントローラーを使用することにより用途にあった設定をすることが可能です。

1. AccuScan250 は 8 つの DMX チャンネルを使用可能です。6 チャンネルそれぞれの機能は以下を参照下さい。
チャンネル 1: パン
チャンネル 2: チルト
チャンネル 3: カラー

チャンネル 4:ゴボホイール

チャンネル 5:ゴボの回転

チャンネル 6:シャッター/ストロボ

チャンネル 7:内部プログラムへのアクセス

チャンネル 8:パン/チルトのスピード

2. 灯体を DMX モードで操作する場合、本取扱説明書の基本設定セクションを参照して下さい。
3. コントローラーのフェーダーを使って灯体の数々の機能を操作して下さい。
4. これによりユーザープログラムを設定することが可能です。
5. 本取扱説明書のシステムメニューセクションを参照し DMX アドレスを設定して下さい。
6. DMX 機器間の接続ケーブルが 30m 以上になる場合、最後の灯体にターミネーターを取り付けることをお勧めします。
7. DMX モードの操作に関しては DMX コントローラーの取扱説明書を参照して下さい。

電球交換

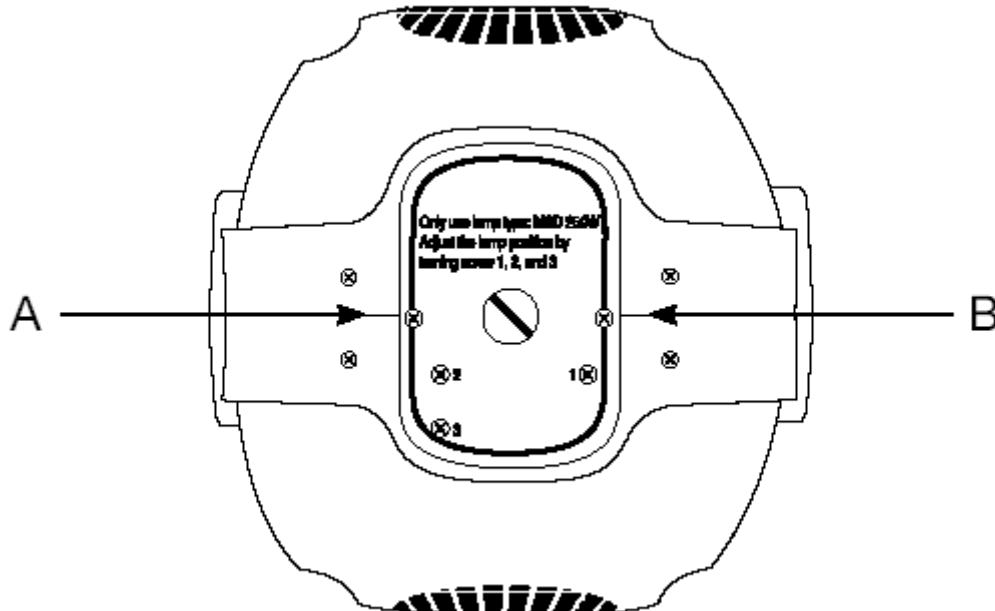
電球を交換する際は必ず同じ型の電球と取り替えて下さい。決められたパーツ以外と交換した場合、保証対象外となりますので予めご了承下さい。

注：電球やヒューズが立って続けに飛ぶ場合は、ユニットの使用を停止し、販売店、又は輸入代理店までご連絡下さい。

電球交換

本体に電源が入った状態で電球交換することは非常に危険ですのでお止め下さい。電球を交換する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外し、本体内部が冷めるまでしばらくお待ち下さい。

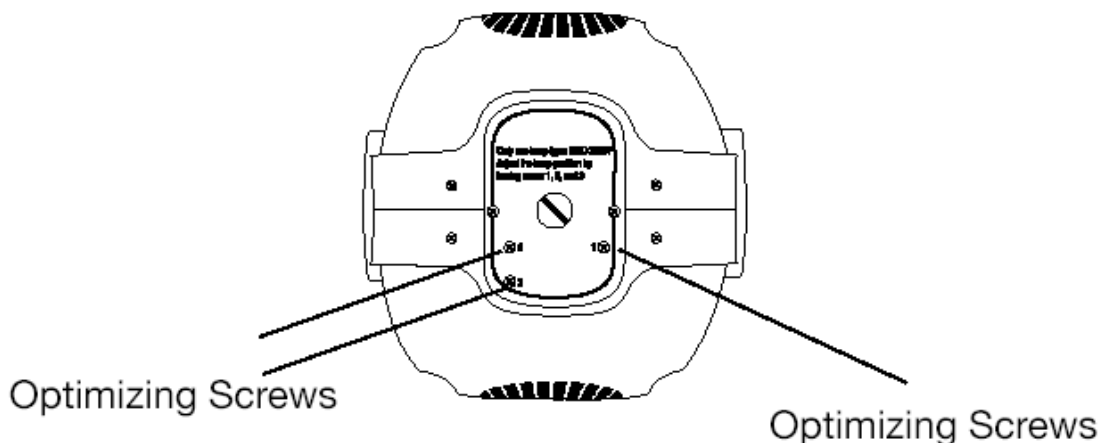
1. 本体の背面にある2つのネジ（下図 A、B）を外して下さい。
2. 電球ソケットをスライドして下さい。
3. 古い電球を取り外し、新しい電球と交換して下さい。
4. 電球ソケットを元に戻し、ネジを締めて下さい。



電球の調整

以下の方法により電球を反射板の真中に調整します。正しく調整された電球は照度も良く、寿命も延びます。

1. 電球の調整を始める前に本体の電源ケーブルをコンセントから外し、内部パーツが冷めるまでしばらくお待ち下さい。
2. 3つの電球調整用ネジを時計回りに完全に回し、それぞれ3回転戻して下さい。
3. ユニットに電源を入れて下さい。
4. DMX コントローラー、又はユニットのコントロールパネルを使い、平らな壁などにライトを照らして下さい。
5. 3つの調整ネジを使って、“ホットスポット” (ライトの一番明るい部分) を中心に設定します。調節ネジは1つずつ調整して下さい。
6. “ホットスポット”が明るすぎる場合、3つの調整ネジを時計回りに回して下さい。また逆に中心が外側よりも暗い場合、電球が適切な位置よりも後ろに設置されています。調整ネジを使って調節して下さい。



ヒューズ交換

ユニットの電源ケーブルを本体から外して下さい。ヒューズホルダーをマイナスドライバー等で取り出し、ヒューズを交換して下さい。

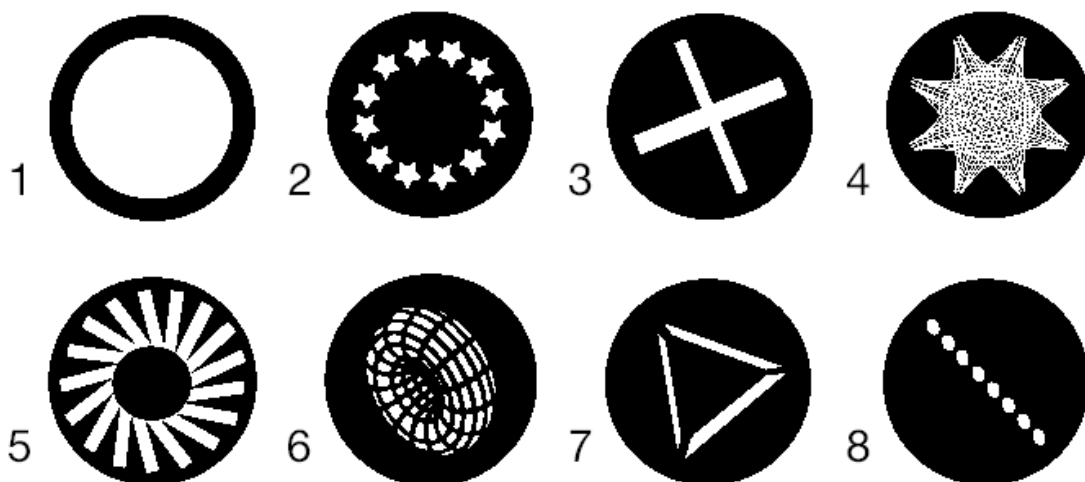
DMX 表

Channel	Value	Function
1	0 - 255	PAN
2	0 - 255	TILT
3 ↓	0 - 199	<u>カラー選択</u>
	0 - 19	ホワイト
	20 - 39	レッド
	40 - 59	ブルー
	60 - 79	イエロー
	80 - 99	グリーン
	100 - 119	ライトブルー
	120 - 139	アンバー
	140 - 159	ピンク
	160 - 179	マゼンタ
	180 - 199	パープル
	200 - 255	レインボー・エフェクト
4 ↓		<u>ゴボ選択</u>
	0 - 13	スポット
	14 - 27	ゴボ1(メタル)
	28 - 41	ゴボ2(メタル)
	42 - 55	ゴボ3(メタル)
	56 - 69	ゴボ4(ダイクロ)
	70 - 83	ゴボ5(メタル)
	84 - 97	ゴボ6(メタル)
	98 - 115	ゴボ7(メタル)
	116 - 135	ゴボ1 シェイク
	136 - 155	ゴボ2 シェイク
	156 - 175	ゴボ3 シェイク
	176 - 195	ゴボ4 シェイク
	196 - 215	ゴボ5 シェイク
	216 - 235	ゴボ6 シェイク
	236 - 255	ゴボ7 シェイク

Channel	Value	Function
5 ↓	0 - 7 8 - 127 128 - 135 136 - 255	<u>ゴボ回転</u> 無回転 順回転(高速→低速) 無回転 逆回転(低速→高速)
6 ↓	0 - 31 32 - 63 64 - 95 96 - 127 128 - 159 160 - 191 192 - 223 224 - 255	<u>シャッター/ストロボ</u> シャッター・クローズ ディマー ストロボ(低速→高速) シャッター・オープン パルス・エフェクト シャッター・オープン ランダム・ストロボ シャッター・オープン
7 ↓	0 - 19 20 - 39 40 - 59 60 - 79 80 - 99 100 - 119 120 - 139 140 - 159 160 - 179 180 - 199 200 - 219 220 - 239 240 - 255	<u>照明オン/オフ/リセット/プログラム</u> 標準カラー切替 任意カラー切替 照明オン 照明オフ モーター・リセット プログラム1 プログラム2 プログラム3 プログラム4 プログラム5 プログラム6 プログラム7 サウンド・アクティブ

Channel	Value	Function
8 ↓	0 5 - 225 226 - 235 236 - 245 246 - 255	<u>PAN/TILT動作スピード</u> MAXスピード MAX → MIN ブラックアウト(動作による) ブラックアウト(ホイールの動きによる) 機能なし

ゴボ



ゴボの交換

ゴボの交換にはプラスドライバーとマイナスドライバーが必要になります。

1. 電源ケーブルをコンセントから外して下さい。電源を切らずにカバーを開けることは大変危険ですのでお止め下さい。
2. プラスドライバーを使ってカバーを外して下さい。
3. ゴボのレンズ側にある固定リングをマイナスドライバーで外し、ゴボをピンセットなどでレンズ方向にゆっくり引っ張って下さい。

クリーニング

レンズやミラーを定期的に柔らかい布などで拭いて下さい。レンズやミラーが汚れていると輝度が下がり、本体の寿命も短くなります。

故障だと思ったら

ライトが点灯しない

1. 電源ケーブルが定格電圧 AC100、50/60Hz のコンセントに接続しているか確認して下さい。
2. ヒューズが飛んでいないか確認して下さい。
3. 電球がソケットに正しく設置されているか確認して下さい。

仕様

AccuSpot250

使用電圧	: AC100V、50/60Hz
電球	: MSD250/2 250W
カラー	: 9 色 + 白
ゴボ	: 7 + スポット (全て交換可能)
ヒューズ	: 10A
DMX	: 8 チャンネル
その他	: サウンドアクティブ機能
サイズ	: 373mm × 295mm × 451mm
重量	: 18Kg

DMX 対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



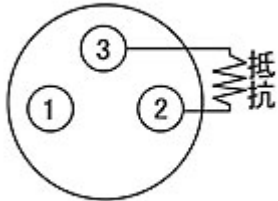
- ・ DMX 対応の照明機器は、上の図の様に配線を行います。配線用ケーブルには DMX ケーブルもしくはマイクケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。DMX 対応のスモークマシーンも同様に接続可能です。
- ・ DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていますが、なるべく距離が長くない様に配線を行って下さい(※)。
- ・ 調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト(PAR64 や PAR38 等)の明るさを調節します。
- ・ インテリジェントスキャナーや、ストロボ等の電源は通常のコンセントからとって下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

※ー長距離の配線についてー

50mを超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用して下さい。ターミネーターとは最後に接続された DMX 対応照明機器の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照して下さい。

ターミネーターの作成方法

ご自身で作成できない場合は、お求めの販売店にお問い合わせ下さい。

	・オスの XLR コネクタを使用し、120Ω $1/4W$ の抵抗を、図の様に 2 番と 3 番ピンに接続しショートさせて下さい。
---	---

American DJ.[®]